

文京区補助金等チェックシート

所属 福祉部国保年金課

1 補助金の名称等

26年度調査

補助金の名称	スパラクーア利用補助金							
根拠規定等	文京区日帰り温泉施設利用助成要綱							
創設年月	平成	18	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	8年	終了予定年月
直近の見直し年月	平成	26	年	1	月	経過年数 〔自動計算〕	0年	
見直しの内容	申し込み方法の修正、特定日の更新							
予算科目	款	項	目	大事業		中事業		実施計画事業番号
	8保険事業費	2保険事業費	1保健衛生普及費	1保健施設開設		1保健施設開設		
補助金の種別	<input type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input checked="" type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給							

2 補助金の概要

補助目的	国民健康法(昭和33年法律第192号)第82条及び文京区国民健康保険条例(昭和34年11月文京区条例第42号)第13条第4号に基づく事業として、日帰り温泉施設の利用料金に対して助成を行うことにより、文京区国民健康保険の被保険者の健康の保持増進を図ることを目的とする。						
補助事業等の内容	小学生以上の文京区国民健康保険加入者(被保険者)1人につき2枚、翌年3月まで利用できる東京ドーム天然温泉 スパラクーアの割引利用券を申込制で送っている。募集総数を超えた場合は抽選。						
補助対象経費の内容	利用券1枚につき1,200円の助成を行う。ただし、助成する額の総額は予算の範囲内とする。						
補助事業者等	<input checked="" type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他						
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕						
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率〔補助率〕 <input type="checkbox"/> 定額〔補助額〕						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助単価〔補助単価 1,200円 単位 枚〕 <input type="checkbox"/> 規定なし <input type="checkbox"/> その他						
	〔その他の場合は具体的に記入〕						
公募の状況	〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕						
	入湯税等の税を除いた平日大人の一般料金から約半分にした金額設定。						
公 募 の 状 況	HP、区報、国保便利帳等で周知						
実績報告書時における用途の確認方法	<input type="checkbox"/> 領収書(写し) <input type="checkbox"/> 契約書 <input type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input checked="" type="checkbox"/> その他〔請求書 使用後の利用券〕						
補助・単独の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 区単独	負担割合	区	国	都	補助対象者	
	<input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)	上乗せの内容・理由					

3 補助金の交付の適否に関する基準〔A:適合している、B:適合していない、C非該当〕

項目	内 容	判定	判定の理由
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	A	毎年一定数の応募があり、楽しみにしているなどの声も多数いただいている。また、年一回の応募事業ではあるが、健康に関するクイズに回答させるなどの方法を取ることで、健康意識を高める効果も果たしている。
	基本構想、実施計画、個別計画等の区の政策に適合しているか	A	基本構想の健康づくり「区民が心豊かに充実して暮らす」ための一助となっていることはもちろん、区民の健康意識を高める効果があることから、生活習慣病の予防にも効果があると考えられる。
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	A	区民の健康の保持増進を図るという意味で補助すべき事業であると判断する。
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	A	国保加入者への事業の浸透が図られており、毎年一定の問合せがあることから影響が大きいと考えられる。
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	A	小学生以上の国民健康保険加入者であれば誰でも申込みできる。
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	A	申込者について全件応募資格の有無を確認して、送付している。
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	A	幅広い世代への健康増進という視点から、区内唯一、且つ人気のある温泉施設を対象とすることで、利用者も多く見込めると考える。(スパパークアを対象とする場合は補助金を交付する以外に代替策はない)
	補助金の交付による効果が認められるか	A	「リフレッシュできた」「楽しみにしている」等の声が寄せられ、対象者の健康の保持増進に寄与していると考えられる。
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	A	健康の保持増進という観点から利用者がスパの効能により疲労回復、健康増進等の一助になっていると考える。
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	B	国民健康保険に加入している区民に還元している。
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか		
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか		
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か		

4 交付実績

(件、千円)

項目	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)
交付(見込み)件数	1,541	1,641	1,481	1,586
決算(予算)額	1,908	2,141	1,981	2,400
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
一般財源	1,908	2,141	1,981	2,400
26年度補助事業等の状況 (交付団体名、成果等)	応募総数1,554件に対し1,481人の資格該当者へ1人券2枚を送付。計2,962枚を送付した。年間で利用した件数1,651件と半分以上が使われる成果を出した。			

5 課題及び今後の方向性

国保加入者の健康の保持増進のために今後も事業は継続していく。